

広島大学短期交換留学（HUSA）プログラム 派遣留学報告書

	記入日	平成24年6月22日		
所属学部・研究科	総合科学 学部/研究科	2年次（留学開始時点）		
留学先大学	韓国教員大学（国名： 韓国 ）			
所属学部・学科等名	英語教育研究学科			
在籍身分	交換留学生（大学院生）			
留学期間	平成23年8月26日～平成24年 6月14日			
<b>1. 渡航について</b>				
ビザについて	ビザの種類： F1			
	ビザ申請先： 広島大使館			
	取得方法、提出書類：銀行の残高証明書、在籍証明書など			
	手続きに要した日数：2週間～3週間			
その他必要な事前手続き	留学申請手続きにおいて必要な書類 ・パスポートの写し ・Application for Admission ・Resume ・Study plan			
出国年月日	平成23年 8月 26日			
経路	広島空港—ソウル空港			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有（・大学関係者 ・その他） <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	留学生対象にオリエンテーションがあるが、中国人が多いため、中国語で行われる。その後、日本語が喋れる学生にオリエンテーションの内容を教えてもらった。			
帰国年月日	平成24年 6月 14日			
経路	ソウル空港—関西空港			
<b>2. 留学経費について</b>				
所要経費	総額	646000		円
	内訳	渡航費（往復4万円×4回）	160000	円
		保険料	100000	円
		教科書代(学費)	6000	円
		宿舍費（10カ月）	90000	円
		食費（10カ月）	90000	円
		その他（生活費 月2万円×10カ月）	200000	円
	（ 費）		円	
	（ 費）		円	

3. 授業について	
年 前学期	8月 27日 ~ 12月 7日
年 後学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	大学院生で留学した場合、大学院生の授業しか取ることができない。 前期は韓国語で受ける多文化教育学の授業を1つと、聴講で学部生の英語で行われる授業を1つ取った。 後期は英語で行われる大学院の英語教育の授業を1つと学部生の体育授業を1つ。そして、学校内特別講義を2つ有料で取った。
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合、所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	韓国教員大学は語学学校も留学生向けの韓国語の授業もないため、初めから、韓国人の学生達と同じように一緒に授業を受けるしか選択肢がありません。留学する前にしっかりと韓国語の基礎を身につけておくことが重要です。また、授業によっては、かなりの課題が容赦なく出されます。無理して多くの授業を取ることはおすすめできません。韓国教員大学は韓国でも有名な教師になるための名門校であるため、教育に関する授業しかありません。教育学部、または教育に関心がある方はかなり深い教育についての知識を得ることができると思います。
4. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居の広さ	約 m <sup>2</sup>   同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 2人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居費	1ヶ月当たり (現地通貨) 約 1万円
住居を決定した方法	<input type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ( 強制 )
留学先での住居全般に関するアドバイス	食堂のご飯があまり美味しくないなので、たくさん友達を作って、外食することをお勧めします。ただ、寮費は3食付きで半年約9万円とかなり安いので、少々我慢することもできました。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ( )
掛け金は	年間 100000円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ( )
留学前後での予防接種 の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

有の場合、その種類、回数、費用、受けた医療機関名		
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由：	
留学先国の医療事情 (日本と比較して)		
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	イソジン等で手洗いうがいをする。水道水は飲まない。	
(3) 危険を感じた地域、状況		
夜のタクシーは必ず1人で乗らないようにしていました。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
<b>5. 帰国後の進路について</b>		
卒業予定年月	平成 25 年 3月 (当初の卒業予定年月 平成 24年 3月)	
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input checked="" type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に )	
現在の状況および今後の予定・進路等	大学院での修了論文をこなし、来年の3月に卒業する予定です。	
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	留学する前に卒業に必要な単位を全て取得し、留学しました。	
<b>6. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等</b>		
書籍、サイト名	詳細 (出版社、URL 等)	コメント
<b>7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)</b>		
<p>韓国教員大学の日本人留学生は私と福岡教育大学の学生3人で計4人でした。語学学校も韓国語の授業もありませんが、その分、韓国人の学生と韓国語をたくさん喋るチャンスがあります。本気で韓国語を習得したいという方にはおすすめで、まさに本当の韓国人学生と同じキャンパスライフを楽しめるのではないかと思います。学校はとても田舎ですが、その分勉強に集中し、無駄なお金を使う心配もありません。また、高速バスを使って3時間弱でソウルまで行けるので、気分転換に遊びに行きたい時は都会のソウルでしっかり遊ぶことも可能です。</p>		

## 学習の概要に関するレポート

韓国教員大学は有名な教育に特化した大学である。そのため、全てが教育についての授業である。

また、韓国の優秀な教師の方は国のお金で、この韓国教員大学大学院かソウル大学大学院に進学し、教育について勉強する機会を与えられる。そのため、大学院生の平均年齢はとて高く、レベルも高い。

### [履修可能な科目の種類など]

大学院生として留学すると、学部生の授業は取れず、大学院の授業しか受講できないため、かなり大変であった。しかし、どうしても受けたい学部生の授業があった際は、直接教授のところに向い、聴講の許可をもらって受けられる授業がある。また、英語で受けられる授業も英語学科の授業で1学期に1つくらいのものである。

語学学校はあるものはあるが、厳密に言うと中国人留学生のためのもので、中国語で行われるため、中国語が堪能な日本人以外を受講不可である。留学生のための韓国語の授業もないため、独学または、日本語を習いたい韓国人の友人を見つけ、勉強を教え合うことを勧める。

### <前期>

- ・多文化理解教育学（大学院生の授業）：韓国語で行われるが、私のために、時に英語で説明して下さった。宿題や課題が多く、本を何ページも読む。授業は主に講義の後のディスカッション、学期の中間にプレゼンテーション、最終レポート提出だった。

（韓国はグローバル化に対応できる多文化についての教育を強化しようと考えている。英語学習や異文化コミュニケーションについても触れながら、新たな文化教育について考えることのできたとても興味深い授業であった。）

- ・Teaching Speaking（聴講）：全て英語で行われる学部生の授業である。このクラスの生徒の英語のレベルはかなり高いものであった。スピーキング教育についての基礎知識と実践的な教育案について考える授業。授業は主に講義の後のディスカッション、グループプレゼンテーション、中間試験、プレゼンテーション、期末テストであった。

（韓国人は日本人にない英語の子音も母国語にあるため、発音が良い。また、英文法を学ぶだけでなく、使える英語を教育しようということでスピーキングの授業の現状や改善点について、議論することができ、私自身も英語学習者として学ぶ事が多かった。）

### <後期>

- ・英語教育学（大学院生の授業）：全部英語で行われる大学院生の授業。教育学について学んでいないとかなり大変であった。クラスメートの8割は既に教師として、教育の現場で活躍した先生方である。授業は主にプレゼンテーションの後にディスカッション、中間テストであった。

（実際にレッスンプランを考え、教授が改善点等を指摘してくださり、実践的な教育学について学ぶことができた。）

- ・バドミントンクラス（聴講）：学部生の体育の授業を聴講させてもらった。普段は使わないような韓国語を覚えることができた、友達を作る良い機会となった。

- ・TOEIC特別演習（100000won別料金）：夜間授業で、半年100000wonでTOEICの授業を受けることができる。授業は韓国語で行われる。

- ・ヨガ特別クラス（100000won）毎週月曜日～木曜日の4日間ヨガを教えてくれる。1クラス1時間。留学中の体力作りとして、とても効果的であった。

### [HUSAプログラムに関する感想]

HUSAプログラムのおかげで、広島大学の授業料を払うだけで、交換先の授業料を払う必要がなく留学をすることができ、金銭的にも効率的に留学ができた。また、休学せずに留学ができ、留学先で取得した単位を広島大学の単位として互換することができるため、3年次までの留学であれば、卒業を遅らせることなく留学できるのも魅力の一つである。また、HUSAの方のサポートがあるため、個人で留学するよりも、安心して海外生活を送ることが可能である。このプログラムのおかげで、自分の目で世界を見つめ、実際に文化に触れられることができるため、国際感覚を身につけ、母国についても新たな視点を持って見なおすことができる。

## 生活の概要に関するレポート

韓国教員大学は清州(チョンジュ)という場所にある。位置としては、ソウルから高速バスで3時間弱の場所にあり、のどかな田舎である。学校は広島大学のキャンパスと同じくらいの大さでかなり広い。学校の周りにはあまりお店はないが、個人経営のカフェがあり、いつもうちの大学生で賑わっている。カフェで宿題をしたり、勉強をしても良いアットホームな雰囲気である。学校の近くにはコンビニが2件あり、食堂も何件かある。大型スーパーはバスで20分程の場所にあり、そこに大きなバスセンターがある。市内まで更に30分かけて行くと、そこに店があるため、ショッピングを楽しむことができる。また、ソウルまで高速バスで約3時間弱のため、ソウルへも観光しに行くことができる。かなり、田舎ではあるが、その分勉強に集中することもでき、大学の友人と親密になれる。また、日本人が珍しいため、お店の方などにも話しかけら、韓国語をよく使い親しくなれる機会が多くある。

また、清州は韓国で有名なドラマ「キム・タック」のロケ地としても有名である。そのロケ地にはスラムゴルがあり、民家の壁という壁に色とりどりの絵画が描かれた「壁画村」で有名なスポットである。朝鮮戦争で戦禍を逃れるためにやってきた人々により築かれた集落で、生活環境の厳しい高台にある街として知られていたが、2007年に地元の芸術家や大学生たちが壁画を描く活動をスタートさせ、町全体がアートとして存在し、今では観光地となった。もちろんアートが描かれている家に今現在も住民の方は住んでいらっしゃる。このロケ地、スラムゴルまでは大学から約1時間ほどで行ける。ソウルなどの大都市の観光も良いが、リアルな庶民の住宅地を感じながらも、そこで生まれたアートを楽しむことができるため、是非、韓国教員大学へ派遣される方には訪れてほしい場所の一つである。

### [大学内施設]

韓国教員大学は教師を目指す学生にとっても人気であるため、遠くの州からも多くの学生がきているため、ほとんどの学生が寮を利用している。性別や学年によって寮が決まる。大学生は2人部屋で大学院生は3人部屋である。大学生はフロア共同のトイレにシャワー室があり、大学院生寮は2部屋の間に小さなリビングがあり、2部屋共同のトイレとシャワー室がある。

コンビニのような小さな売店は夜10時くらいまで開いており、外にカップラーメンの自販機もある。もちろん1日3食付の食堂もある。韓国教員大学の寮と食堂は決して綺麗ではないが、半年間で食費を合わせた寮費が9万円なので、とても節約できる。

図書館の学習部屋はいつもいっぱい、切磋琢磨しながら勉強できた。また、図書館の近くにあるカフェは夜10時ころまで開いているので、勉強の合間の一息をきにカフェに行く学生も多い。また、学内に郵便局とクリーニング屋さんがあるため、とても便利だった。

夜には大学内にたこ焼き屋の屋台がくることもあり、田舎ではあるが、楽しみながら生活することができた。